

ホットな消費者 News

消費者問題の事例対処法を解説します。

訪問購入のトラブルが増えています

「不要品を買い取る」と電話があり自宅に訪問した業者に皿を買い取ってもらった。ほかに貴金属などがあれば鑑定すると言われ、売るつもりはなかった貴金属を買い取らせてしまったが取り戻せるのか？

対処法

- ◆買い取りの勧誘を承諾していない貴金属の売却を迫られたら、きっぱりと断りましょう。
- ◆クーリング・オフ期間内は、購入業者に物品の引き渡しを拒むことができます。期間内は物品を渡さないことも一つの手です。

お問い合わせ

消費者ホットライン ☎ 188

久留米市消費生活センター ☎ 0942-30-7700

福岡県警察 ☎ 110 または # 9110

■弘化谷古墳一般公開

古墳内の装飾壁画を公開

日時 11月19日(日)、
9:00～15:00
※予約不要



■銅矛里帰り展

江戸時代に広川藤田村で出土した銅矛 18 本。その中で神社の神宝として伝世している 3 本が 300 余年ぶりに広川町で展示されます。

期間 11月19日(日)～12月10日(日)、
9:00～17:00
(入館は 16:30 まで)

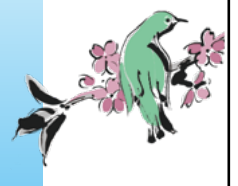
場所 古墳公園資料館
1 階、展示室



園生涯学習課生涯学習係 ☎ 0943-32-0093

広川文芸

ひろかわ俳句会



子や孫の祝電つづく敬老日
新米や異常気象に勝ち光る
今朝の秋飛機雲映す水たまり
古戦場の土手に今年も曼珠沙華
秋晴や鳥帽子まぶしき稚児の列
夕焼けやどこまで解く紅の帯
初栗の甘い香りや居間に満つ
酌み交はす遠来の友新走
八女津姫眠れる里や秋の暮
秋風や目指す高岳砂千里
たぶたぶの二の腕晒す残暑かな
月見して七年後汝元気でね

野中 勝美
結束 節子
原口 あつ美
一瀬 砂智子
渡辺 弘子
青木 佳代子
福田 美知子
柴田 眞理
酒井 司
原口 正信
水本 艶子
溝田 幸

櫻の会

虫の声ききつつ起きる朝六時ラヂオ体操する元気あり
行き急ぐ目高の群はひたすらにえさ乞ふだけの水がめの中
幾許の余命保ちて鳴く蝉に照り返るのは晩夏の日差し
かまきりの鎌に驚く草むしり鎌ふり上げて逆さに逃げる
伝へたい「命の重さはどれも同じ」人権カレンダーに響く
庭うちにはぐれ来たのか赤とんぼもの言ひたげに葉先に止まる

一瀬 砂智子
中倉 明美
山崎 美代子
野中 勝美
濱武 美智子
青木 佳代子

「ひろかわ俳句会」会員募集してます。◆日時 毎月第1(休)、9:30～11:30 ◆場所 町民交流センター「いこっと」

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

学校と教育制度の変遷 その8

～ 尋常高等小学校と青年訓練所 ～

全国的に小学校の就学率が著しく向上

明治末期以降、小学校の就学率が著しく向上します。

同23年(1890年)の就学率は、男65・1パーセント・女31・1パーセントでした。これが大正6年(1917年)になると、男99・1パーセント・女98・7パーセント(平均98・9パーセント)と、飛躍的な増加をみます。

この時期に政府および教育関係者の関心は、教育の内部すなわち、学習指導の改善であったり、学校施設の充実といったことに、焦点がしばらく込まれてきました。

本紙8月号で、日清戦争賠償金を基金とした普通教育振興や、福岡県独自の旌表校制などについて、すでに詳しく述べています。

大正7年(1918年)2月11日、中広川尋常小学校が旌表旗を授与され、表彰を受けています。

翌8年4月には、従前の広川高等小学校が廃止されて、各尋常小学校に高等科が設置されることとなります。これを機に、各尋常小学校は校名を改めて、尋常高等小学校と

なります。

同4月上広川尋常高等小学校を、現在の上広川小学校の場所に移転していますが、このことについては、本紙10月号に詳しく述べていますのでご参照ください。

同15年4月20日、「青年訓練所令」が公布され、これを受けて各尋常高等小学校に、青年訓練所が併設されました。

この青年訓練所とは、小学校卒業後の男子勤労青少年(対象年齢16歳〜20歳)を対象とした社会教育機関です。義務制ではありませんし、文部省の管轄下にはありませんが、軍部の主導によってできたものです。本音は徴兵以前の青年に、軍事訓練を課す場を、設けることになったといってもよいでしょう。

日中戦争が始まり、教育の場にも戦争の影響がはじまる

昭和6年(1931年)

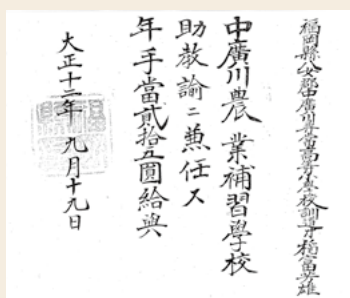
9月18日、柳条湖(中国東北部)で、関東軍(日本)による満鉄線路爆破事件をきっかけに起きた満州事変、同12年(1937年)7月7日、中国北京郊外の盧溝橋で、日中両軍が軍事衝突して日中戦争

が始まりました。

このような背景のもと、同10年4月1日には「青年学校令」が公布され、従前の青年訓練所は青年学校となります。この時には、従前からあった「実業補習学校」(明治26年11月22日設置)も、新制度の「青年学校」に統合します。

同14年4月26日には、「青年学校令」の改正があり、それまでと違い義務となります。これを契機に上中下3村立の青年学校が、現在の広川町役場南の富安橋西側(大字新代字深町)に設立されました。

青年学校の本旨は、「男女青年に對しその心身を鍛錬し、徳性を涵養するとともに、職業および實際生活に必要な知識技能を授け、もつて国民たる資質を向上せしむるを目的とす」にありました。



▲実業補習学校の一つ
中広川農業補習学校の辞令

広川町古墳資料館だより

広川町で直弧文ワークショップを開催した西平孝史さんと九州の古墳研究で著名な高木恭二さん2人をパネラーに、11月23日(木)、直弧文研究の新視点となるシンポジウム「直弧文の解体と復

元」を実施します。(先着30人)。生涯学習係(☎0943-32-0093)へご予約ください。
古墳資料館1階には、西平さん作成の直弧文レプリカを展示。シンポジウムと併せてぜひご覧ください。



▲西平さん作成の直弧文レプリカ(古墳資料館1階)